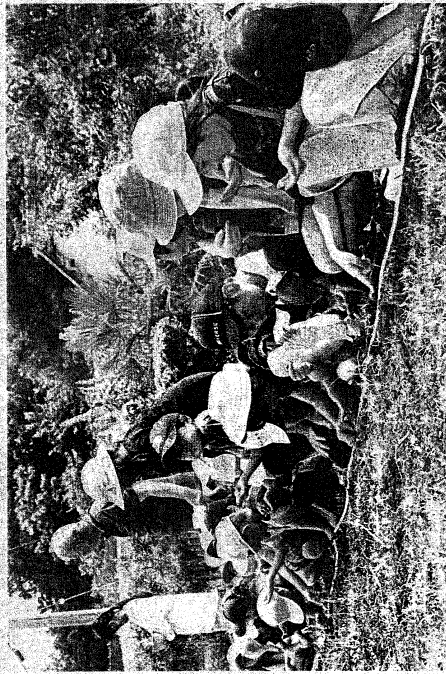


富士宮高校会議所 ヒマワリの種まきに汗流し 児童クラブの子供たちと

とがみえん児童クラブ・とがみえん北児童クラブ(井出啓彦代表)に通う小学生はこのほ

び、富士宮市外神の耕



「早く大きくなってね」と願い種を植える

た。サツマイモはスイ
を殺培して景観や迷路
遊びを楽しむほか、ヒ
マワリ油を精製。ま
約10坪の畑にヒマワリ
肥(げんぴ)を施した
D.G。実践マスマス元
同会議所会員は、S
の1環。

作放棄地で、ヒマワリ
の種まきとサツマイモ
のつる挿しを行った。
富士宮高校会議所によ
る第2回ヒマワリ栽
培・油化プロジェクト
の1環。

ヒマワリ油はヒタミ
ンEはオリーブ油の約
11・7倍、オレイン酸
はエゴマ油の約4・5
倍など栄養価が高く健
康的で、藤太郎(大宮
町)とコラボしてシフ
オンケイきづくりに活
用している。

井出代表は、「児童
たちは、自ら育てたヒ
マワリが大きく成長し
て高校生と一緒に迷路
遊びをすることや、カ
ボチャが大きく育つこ
とを心待ちにしてい
る」と話した。



ヒマワリの種まきを体験

めプロジェクト
地をよみが
えらせるた
と耕作放棄
元肥の普及
たマスマス
いて製造し
霧牛糞を用
(さ)と朝
年の残渣
に生かして
いる。一昨
年、ニジマ
ーづくりに

プロジェクトを開始。耕作放
棄地を活用し、野菜や
果樹、草花栽培を推進
して新たな特産物の創
出を図り、持続可能な
社会を目指している。

事前に同会議所メン
バーがマスマス元肥を
施して整地した畑で、
総勢110人の児童が
学年ごと作業に取り組
んだ。児童は虫などを
見つけて大喜びなが
ら種まきとつる挿しに
汗を流した。